

| | | |
|------------|-----------|---------------|
| 生活環境常任委員会 | 10月17・18日 | 長野県飯田市、茅野市 |
| 子ども教育常任委員会 | 10月19・20日 | 愛知県豊橋市、京都府京都市 |



子ども・若者への支援について～先進自治体に学び、多摩市にできることを考える～

子ども教育常任委員会

子ども若者総合相談支援センター「ココエール」及び子ども・若者支援地域協議会について 愛知県豊橋市

子ども・若者を取り巻く環境が大きく変化し、多摩市でも不登校・児童虐待・いじめ・ひきこもり等が課題となっております。

豊橋市は、子ども・若者育成支援推進法に基づく、子ども若者総合相談支援センター「ココエール」を設置し、子どもと若者に関するあらゆる相談に応じ、子どもと若者の健やかな暮らし、伸びやかな未来をいっしょに考えながら一人ひとりの困りごとに寄り添ったサポートをしています。センター開設から5年経過し、様々な情報が蓄積され、新たな相談への対応や支援に生かされています。また、子ども・若者支援地域協議会を設置し、児童養護施設や里親・民間団体など、多くの関係者との連携が強化されています。そのような中で、豊橋市は若者の相談が令和4年度は800件を超えています。

それに対して多摩市は若者の相談窓口などの施設がありません。しごと・暮らしサポートステーションのひきこもり相談はありますが、若者への支援はそれだけではなく、やるべきことがたくさんあることを学びました。子ども・若者一人ひとりを切れ目なく支援していく拠点「多摩

市子ども・若者総合相談センター」と「子ども・若者支援地域協議会」の設立は、多摩市の子ども・若者の明るい未来につながると思いました。



学びの多様化学校(京都市立洛風中学校)の取組みについて 京都府京都市

急増している不登校生徒を支援するため、多様な学びの選択肢として求められている「学びの多様化学校(不登校特例校)」の多摩市での設置をめざし、京都市立洛風中学校を視察しました。

洛風中学校は2004年開校以来、「創造工房」をはじめ体験活動を重視した、柔軟で特色ある教育課程を独自に編成し、生徒一人ひとりの実態に応じた学び直しの機会を工夫しています。例えば、無理なく学習できるよう年間総授業時数を通常より少なく設定しており、時間割りを工夫して、自身の気持ちを確認する時間、自分探しの時間などを設けています。心を開いて遊び、語り合い、健全な心身を養い、様々な課題を克服する学びの実践を通じて、自己実現・社会的自立のできる生徒の育成をめざし、20年ものあいだ子どもたちに寄り添っています。

洛風中学校には優しく自由な空気が流れているように感じました。そんな中で、不登校になった子どもたちのほとんどが卒業し未来へ羽ばたいています。

多摩市では昨年、「子ども・若者の権利を保障し支援と活躍を推進する条例」が施行され、全ての子ども・若者が希望を持って成長できるまちの実現をめざしています。自らの夢を創造し歩む社会的自立のできる生徒の育成のために、新たなかたちの学びと育ちの場となる学校を多摩市にも望みます。

